

平成 27 年 1 月 28 日  
オーディオ・ビジュアル事業委員会  
オーディオ・ビジュアル機器専門委員会  
委員長 今井 隆洋

## 4K・8K関連 レコーダーのカタログ等表記ガイドライン

### 1. 目的

一般消費者に対し、カタログ等で間違った理解や解釈が懸念される項目について、市場の混乱を未然に防ぐため、カタログ等作成における指針とする。

### 2. 適用範囲

#### (1) 適用機器

BDレコーダー、HDDレコーダー等

#### (2) 表記対象

各社のカタログ、ホームページ、広告媒体とする。

### 3. 表記内容

#### (1) 放送種別※に関わる表記

4K・8K放送を受信できる場合、その放送種別や各事業者のサービス名称を製品名と同一ページに判りやすく記載することを推奨する。

表記例 (1) - 1: Channel4Kを見る・録る・再生する、4Kレコーダー

表記例 (1) - 2: 「ひかりTV」の4Kテレビサービスを録画・再生できる4Kレコーダー  
(4Kテレビサービスはxx年 yy 月から商用サービスを開始予定)

※:本文書において「放送種別」とは、衛星放送、ケーブルテレビ、IPTVといった放送の伝送経路のこと。

#### (2) “対応”に関わる表記

呼称が定義されている「4Kレコーダー」に“対応”を付加することは避けること。

避けるべき表記例 (2) - 1: 「4K対応レコーダー」

(3) 誤認されやすいので注意が必要な表記

- ・定義されている呼称に対し、他の語句を組み合わせた表現は誤認を招くおそれがあるため十分に配慮をすること。

避けるべき表現 (3) - 1: 「4KBDレコーダー」

- …上記は、“4Kチューナーを内蔵したBDレコーダー”を示したいと想定されるが、BDを搭載した4Kレコーダーの場合、BDにも4K映像をそのまま記録あるいは再生することが可能であると誤解を与えないよう、下記の例を参考に十分配慮すること。

表記例 (3) - 2: 4Kレコーダー  
(本機に搭載のBDドライブは4K映像を録画・再生できません)

- ・4K放送が受信できる場合、4K画質で録画・再生ができるかどうかを判りやすく記載することを推奨する。

表記例 (3) - 3: 4Kチューナー内蔵レコーダー (4K画質では録画・再生できません)

(4) 入出力端子に関わる表記

- ・HDMI端子を有する場合、対応する規格を判りやすく記載すること

表記例 (4) - 1: HDMI規格に準拠した4K/60p/YCbCr4:2:0に対応しています

- ・ハイビジョン放送を4K解像度にアップコンバートして出力する機能を持つ場合は、接続するテレビ等の条件を判りやすく記載すること。

表記例 (4) - 2: 市販ブルーレイディスクタイトルやハイビジョン放送の映像素材などを4K/24pにアップコンバート出力します  
(4K映像の視聴には、HDMIの4K/24p入力に対応した4Kディスプレイが必要です)

(5) 使用する上で必要な条件等がある場合の表記

- 商品本体だけでは十分な動作が出来ず、別売の機器やケーブル等が必要な場合、その動作説明や機能表等の近傍に詳しい説明を明確に表記することを推奨する。

表記例 (5) - 1: HIGH SPEED(カテゴリー2)に対応したHDMIケーブルをご使用下さい

表記例 (5) - 2: Channel4K をご覧いただくには視聴申込み(無料)が必要です。

#### 4. 実施時期

各社、対応可能な時期から。

以上